

令和5年度 自己評価

幼保連携型認定こども園長坂保育園

〈評価方法〉 5:十分達成されている 4:達成されている 3:どちらでもない 2:取り組まれているが十分ではない 1:取組が不十分である

	評価項目	評価
1	法人の理念、教育保育目標に基づき園が運営されている	⑤・4・3・2・1
コメント	マニュアルで明文化されており、ミーティングや園内研修などで確認をし反映できるよう努めている。	
2	園や社会の状況を踏まえた教育・保育目標等が設定されている	⑤・4・3・2・1
コメント	園の目標を基本として、毎月の目標は社会の状況や季節の変化などを踏まえ、設定している。	
3	園の教育課程の編成・実施にあたり、前年度の反省を活かし職員間の共通理解がなされている	5・④・3・2・1
コメント	会議やミーティング等で反省を行い、年間の反省では全体で話し合い共通理解を図る取り組みは行われているが、まだ十分ではない。	
4	幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の職員が理解している	5・④・3・2・1
コメント	意識し、理解しようを努めているが勉強がまだ必要である。ミーティングなどを使い勉強する機会を増やしていきたい。	
5	職員がそれぞれの全体的立場を理解し、協力しながら職務を遂行している	5・④・3・2・1
コメント	それぞれの立場に沿った職務を分担しながら行っている。それぞれの職員が更に園全体へ目を向け、協力していきたい。	
6	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した、指導計画の立案と、指導がなされている	⑤・4・3・2・1
コメント	見守るソフトを活用しながら、0・1・2歳児は毎月の個別計画があり、3歳以上児は年3回個人目標を立てている。定期的に見守るチェックをしている。配慮の必要な園児の個別支援計画を立てている。	
7	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	⑤・4・3・2・1
コメント	それぞれの行事に対し、ねらいや計画を立て実施している。終わった後は振り返りや反省をしている。	
8	乳幼児の病気やけが等の情報提供(国、県、市からの情報)が行われているか	⑤・4・3・2・1
コメント	回覧や会議、園内研修などを通して職員へ周知し、ポスターを張り保護者へも周知できるよう取り組んでいいる。	
9	日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか	⑤・4・3・2・1
コメント	毎日、健康観察や視診を行い変化が見られた時は保護者と連携している。年に2回ずつ小児科健診歯科健診を実施。	
10	避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされている	5・④・3・2・1
コメント	毎月様々な災害に備えた避難訓練を実施しているが、より個々の対応能力が向上するような取り組みを行ってきたい。	
11	特別な支援が必要な園児のために関係施設等との交流が図られている	⑤・4・3・2・1
コメント	配慮を必要とする園児の個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めている。個別の支援計画を立て、嘱託医に相談をしたり療育施設の訪問支援を通し連携しながら個別の対応などを行っている。	
12	園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされている	⑤・4・3・2・1
コメント	嘱託医や市の関係機関、療育施設と連携しながら取り組んでいる。	
13	職員会議、ケース会議、園内研修等が定期的に行われている	⑤・4・3・2・1
コメント	毎月それぞれの会議やそれぞれのチームミーティングを行っている。	
14	実習生やボランティア、中高生の職場体験等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体勢を確立している	⑤・4・3・2・1

コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。 (今年度は実習生3名、高校生の職場体験4名、大学生ボランティア1名(5日間)が来た)	
15	認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関の情報を収集し、連携した取り組みを行っている	⑤・4・3・2・1
コメント	変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。小学校や地域の手紙等も回覧し、情報を共有している。	
16	自己評価が行われ、職員の資質の向上が図られている	5・④・3・2・1
コメント	毎日それぞれのクラスで立てた計画に対し反省や自己評価を行い、月や年で個人やチームでも自己評価を行っている。 自己評価が資質向上に繋がるようにしていきたい。	
17	家庭の状況や保護者との情報交換を行い、必要に応じて内容が記録されている	⑤・4・3・2・1
コメント	参加日の懇談会ではアンケートを取り、家庭での情報を聞きまとめた物を保護者の方にも渡し情報を共有している。 相談をされた際には、相談記録を作成し、個人面談を行った際にも記録をしている。	
18	子育ての支援(延長保育、一時預かり等)が行われている	⑤・4・3・2・1
コメント	延長保育、一時預かり、地域子育て支援広場等が行われている。	
19	情報提供(園だより、HP、感染症等)にあたって、分かりやすく伝える工夫や配慮を行っている	⑤・4・3・2・1
コメント	園だより等のお便りは配布し、HPにも載せている。毎日感染症についても、玄関のボードとHPで伝えている。	
20	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている また保護者、地域住民の参画及び協力が行われている	⑤・4・3・2・1
コメント	根城地域のあいさつ運動やごみゼロ運動、防災訓練などに参加している。 年長が史跡根城まつりや柿の木苑の食堂車安全祈願祭に参加した。	
21	小学校及び園児、保護者と連携した取り組みを行っている	⑤・4・3・2・1
コメント	年長児が根城小学校の音楽会や江南小学校の学習発表会や運動会の見学に行った。職員が小学校の参観日に参加し、 幼保小連絡会や情報交換会など小学校の先生と話し合う機会がある。	
22	健診の結果について、保護者や職員に伝達しそれを教育・保育に反映している	⑤・4・3・2・1
コメント	結果を保護者に伝えている。気になることや囁託医からのアドバイスなどは職員間で共有し保護者へも伝えている。	
23	遊具、玩具、絵本等が活用しやすいように整理・保管・整備されている	5・4・③・2・1
コメント	それぞれのコーナーで担当が決められ、定期的に見直しを行っている。コーナーによって見直しの頻度にバラつきがあるので、 年間の計画をたて、コーナーの担当者だけでなく、全体で話し合いながら見直しを行っていきたい。	
24	調理場、水周り等の衛生管理がマニュアルに基づいて適切に実施されている	5・④・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。トイレの手洗い場など、使う頻度の多い場所は汚れて しまう事が多いので、職員一人一人が意識して、こまめに確認し衛生を保てるようにしていきたい。	
25	事故防止に向けた具体的な取り組みを行っているか	⑤・4・3・2・1
コメント	けが記録簿をつけ、毎月の職員会議で話し合いの場を設けている。ヒヤリハットがあった際は朝礼で伝え、職員で共有している。毎月園 内外の安全点検チェックを行い、事故防止委員が毎月散歩コースの確認を行い、危険箇所を会議で伝えみんなで情報を共有している。	
26	危機管理に対するマニュアルがあり、全職員に周知されている	5・④・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、職員に配布されている。毎月避難訓練を行い、園内研修でもマニュアルの確認を行っている。マニユ アルがそれぞれの災害ごとになっているので、統一したものを作成していく。	

(改善できる点や改善方法)

<全体>

- ・職員全体でコーナーの見直し日を設けた事で、様々な意見がでて改善に繋がった。見直し時期を年度初めに決めて、計画的に行きたい。
- ・教育保育要領やマニュアルなど、見直す機会が少なかった。マニュアルは回覧をし、年に1度は個人で見直しを行っているが、全体でも振り返る機会を設けていきたい。
- ・研修報告を園内研修で行っていたが、話を聞いて直ぐに伝えたい事もあった。1週間以内に報告をするようにし、14時から30分位の時間で伝えていくようにする。

<0歳児>

- ・コーナーを今までと違った配置にする事で、落ち着いて遊べる様子が見られた。配置換えを何度か行ったが、内容をもっと話し合い、定期的に変えていくべきだった。
- ・給食の食事の仕方を、園児の月齢や食べたい園児から行うようにした。園児も落ち着いて食べ、食後の着脱など一人一人への目配せがしっかりと行えた。
- ・活動は一斉ではなく、様々なものをそれぞれ分かれて行ったので、落ち着いてゆったりと取り組めた。
- ・細かい所の掃除を、もっと定期的に行っていきたい。

<1歳児>

- ・未満児の職員は以上児コーナーに関わる事が難しかったが、全員で見直し、改善する日を設けた日があり、良かったので、定期的に行っていきたい。
- ・毎日行われている0.1歳児の10分反省の時間が伸びてしまう事もあったので、時間を守りクラス内での話し合う時間を作っていきたい。

<2歳児>

- ・個人の持ち物の入れ間違えがあったので、二重チェックや汚れ物を入れた袋に名前を書くようにした。
- ・進級に向け以上児クラスでの生活が始まると、園児が開放的になり落ち着かない様子も見られた。園児の気持ちを受け止めつつ、職員間で連携を取りながら、その時期の園児の様子に合ったコーナーの中身の見直しなども行っていきたい。

<3歳児>

- ・職員間で話し合い、伝え合っていたが、上手く共有出来ない事があった。文字に残したり、繰り返したりしながら共通認識が図れるようにしていきたい。
- ・配慮を必要とする園児は、訪問支援などを通してアドバイスをもらい、対応する事ができた。これからも連携を密に取っていきたい。
- ・挨拶を自分からできるように、保育教諭も進んで挨拶をしたことで、身に付いてきた。

<4歳児>

- ・クラス全体が落ち着きのない様子の時があったので、職員間で声を掛け合い連携を取りながら、一人ひとりの行動を把握していきたい。
- ・異年齢での関わりの中で、きく組の姿を見て、サッカーやカルタ、縄跳び、文字等、自然と興味を持って遊んでいた。年長へ向け、遊びが深まったり、興味の幅が広がるようサポートしていきたい。

<5歳児>

- ・9・10・11月と園の行事以外にも小学校との交流や地域の行事もあり、年長が忙しくなってしまった。年長だけでなく、年中や他のクラスにも協力してもらいながら進めていきたい。
- ・園児の声を聴きながら、活動に実験などを取り入れる等した。これからも園児のやりたいことを一緒に楽しめるよう、活動に取り入れていきたい。

<子育て支援・一時預かり>

- ・玩具が棚に収まりきらない所もあったので、棚を交換するなど改善していく。
- ・棚に入っている玩具が、写真と違う場所もあったので、その都度変更するようにしていく。
- ・水周りの掃除など、出来ていない箇所があったので、こまめに確認しきれいにしていく。

令和6年 1月25日、26日に職員参加で実施した。
令和6年 3月 30日 記 録 : 若江真瞳花(主幹保育教諭)